



学校創立 144 周年

百年松

阿木名小中学校だより5月号 令和5年5月 15日発行

◇ 校訓 「かしこく やさしく たくましく」

あ 明るく元気なあいさつができる子ども
ぎ りぎりまであきらめず努力する子ども
ぎ 仲よく笑顔いっぱいの子ども
な ~花いっぱい、元気いっぱい、笑顔あふれる阿木名っ子~



阿木名小中学校

故郷を思い気づき考え 波濤を越えて生き抜く阿木名の子ども

校長 阿部 康夫



南海日日新聞 (R5.4.28) の見出し

ゴールデンウィークに入る直前の新聞記事に「きょう『痛恨の日』」という見出しがありました。4月に赴任してきた私にとっては、衝撃的な見出しでした。調べてみると、今から71年前の1952年4月28日にサンフランシスコ平和条約が発効され、敗戦で連合国の占領下にあった日本の主権が回復しましたが、その際、奄美群島と沖縄、小笠原諸島は日本から切り離されたそうです。つまり、日本なのに日本の一員ではなくなり、今のように自由に船や飛行機に乗って鹿児島や東京など

に行けなくなってしまったのです。沖縄では、この日を「屈辱の日」と呼ぶそうですが、当時の人たちが痛恨に感じた思いは計り知れないものがあったと思います。

しかし、このことがきっかけとなり先人たちの日本復帰にかける思いは強くなり、断食をして訴えるなど一丸となってさまざまな運動を行ったそうです。その強い思いに押され、1953年12月25日に奄美群島は沖縄より一足早く日本に復帰しました。このことで、多くの人々は喜んだそうですが、まだ悲劇は続き、今度は奄美群島と沖縄が分断されたことで、沖縄に移り住んでいたたくさんの奄美出身者たちは沖縄では外国人となってしまったそうです。そのため、国境となった与論島と沖縄の間の海上で集会を行うなど日本復帰運動はその後もあきらめず続いたとのことでした。

今年は奄美群島日本復帰70周年の節目の年です。今後、様々なお話を聞いたり目にしたりすることができると思います。本校の児童生徒の皆さんには先人が歩んできた歴史を学び、日本復帰にかけた情熱と行動力を実感してほしいです。きっとその熱い思いを引継ぎ、先人に負けない情熱と行動力でこれからの未来に待ち受けている波濤を乗り越えてくれることでしょう。



連休明け、つらいことや悩みがあったら…

新学期がスタートして1ヶ月。不安や悩みを抱えている児童生徒のみなさんは、遠慮せず、「SOS」を出してください。新学期はなかなかなじみず精神的にきついこともあるかもしれません。学校には、スクールカウンセラーも来校しますので、相談してみてください。その他、以下のような相談機関もあります。保護者の方も利用可能です。

いじめ問題…099-224-1179

学習・友人・親子の悩み…099-226-1345

24時間子供SOSダイヤル…0120-0-78310

かごしま子供SNS相談・通報窓口…LINEアプリで右のバーコードを読み取る

